

# 湯梨浜 ままたばより 第16号 平成20年2月発行

げんき・いきいき・かがやきのまち

新しい年、希望に向かってスタート!! (2008新春みんなでかけろう会)



般質問 8人の議員が問う

(2面)

TANK SANGARAN SANGARAN SANGARAN SANGARAN

常任委員会 審議内容

常任委員会所管事務調査の報告



### 一般質問。 一般質問 「一般質問 「一般表別 「一般表

### 質問議員と主要項目

平成19年12月定例会は、12月14日に開会され、第3日目の12月16日(日)に一般質問が行われた。質問議員8人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。各議員の質問項目は次のとおりである。

### 浜中議員

- ①湯梨浜町地域福祉計画について、湯梨浜町の福祉の推進は
- ②住民の生命と財産を守るための湯梨浜町 の防災体制の推進は

### 光井議員

①町公民館、集会施設条例及び使用料徴収 規定の問題点について

### 吉村議員

①行政改革実施計画(集中改革プラン)の 推進について

### 会見議員

- ①平成20年度からの「特定健診、特定保健 指導」の取り組みについて
- ②自然災害時における災害現場と関係機関 との連携について

### 吉田議員

①緊急地震速報体制について

### 寺地議員

①湯梨浜町農業の現状と将来展望について



一般質問(議場風景)

### 増井議員

- ①同和関連予算について
- ②妊婦検診の助成の拡充をしてはどうか
- ③生活保護の申請書を各庁舎の窓口に置き、 誰でも必要な時に申請ができるようにす べきではないか
- ④学童保育について

### 竹中議員

- ①後期高齢者医療に関する条例について
- ※紙面の関係上、増井議員の②・③の質問は 未掲載とします。

## **配福祉の取り組みは** 進んでいるか

# A目標の達成を目指す



浜中武仁議員

### 答弁(町長)

う。

でいく必要がある。 図りながら、「地域福祉 個別計画の着実な展開を 計画」の実現に取り組ん 計画」や「障がい者計画」 ·介護保険計画」などの 「次世代育成支援行動

関・町民が一体となって

れた。行政・関係専門機

地域福祉計画が策定さ

取り組む仕組みだと思う。

計画策定がゴールでは

いきたい。 切な計画づくりに努めて 目標の達成を目指してい どと議論を深めながら、 さんと話し、関係団体な 努めることと、住民の皆 状況や進捗状況の把握に くことが大切であり、適

そして、その取り組み 回総合防災訓練の反省点は

A自らの役割・業務の 再認識が必要

11月に町総合防災訓練

な部分の見直しをするこ 炎計画、災害対策の不備 えるようにすること、防 行動を迅速かつ円滑に行 うにすること、不慣れな 確な意思決定ができるよ 義は、災害混乱時にも的 が実施された。訓練の意 とだと思う。

所見を伺う。 防災体制の推進について 訓練の反省点、今後の

をしている。

の開催等により働きかけ

伺う。 画作成の取り組み状況を 把握、支援体制、支援計 の対策、要援護者の情報 組織地区の解消に向けて また、自主防災組織未

れる。

計画の実施状況の評価

べられているが、住民の

であると計画の中でも述

なく、あくまでスタート

の早い段階での発見、そ

して迅速な対応が求めら

ニーズ、住民の生活課題

真剣!!総合防災訓練 赤十字奉仕団炊き出し

ど、福祉推進の現状と見 のネットワークの構築な の他関係機関・団体等と

民生児童委員、地域、そ 行政、社会福祉協議会、

体的な取り組み状況を伺

### 答弁(町長)

ているが、機構改革等も 学習・訓練を重ねること げていただくよう説明会 正していきたいと考える。 と現状に即した内容に改 あり、今回の訓練の統括 応マニュアル」を作成し 併当初に「災害時初動対 が必要と思う。また、合 の役割・業務を再認識し た。今後は、各自が自ら き部分が浮き彫りとなっ 訓練とあって、改善すべ 集落には、組織を立ち上 防災関係組織の未組織 合併後の初めての総合

# **配公民館体制の整備は**

# A審議会で検討

処理している。

③公民館という施設の

地域の地区公民館とは異

なり、施設条例を適用し

館の使用料徴収は、

羽合

②舎人、花見地区公民



光井哲治議員

## 答弁(町長)

目的別に条例を定めるこ 利用を促進する観点から 有している場合、施設の とは可能である。 ①施設が複数の目的を

題ではないか。

②現行条例が2つある

つ制定されているのは問

①同一施設に条例が2

う。 備されるのか、

所見を伺 めない。 的を有しており、減免の 性格上、広範にわたる目 適用が多くなることは否

期に対応し検討していく。 会等で検討している。早 望ましいのか、現在審議 いく上でどういう体制が ④社会教育を推進して

どうしたものか? 学校跡地等利用検討委員会の現場調査

問題が生じるのではない

③現行の施設設置管理

盾しており、問題ではな

費を予算計上するのは矛 まま、一部の施設の管理

いか。使用料徴収規定も

ふれあい。公民館まつりの一幕 (泊分館)

# 吉村敏彦議員

れた諸問題の改革を推進 していくには、 合併協議会で先送りさ 財政計画

ある。いつまでに体制整 館体制が未解決のままで 教育計画で、泊地区公民

④町公民館条例、社会

ないか。

解釈があり過ぎるのでは 適用で、減免規定の拡大 条例の使用料徴収規定の

# **配行政改革は進んでいるか**

# A出来るものから

速やかに実施

推進されたのか。 意見を受け、どのように を示す努力が必要と思う 方・公共施設のあり方等 要性・受益者負担のあり を明らかにし、改革の必 を住民に説明し、選択肢 改革は直接・間接的に 行政改革推進委員会の

> あり、どのように住民に くのか。 理解を求め、推進してい 住民に痛みを伴うもので

が、実施年度を明らかに し、推進すべきと思うが。

方について検討中とある

多くの公共施設のあり

### 答弁(町長)

かに実施している。 る。出来るものから速や に向け調査審議されてい 的・多角的な町政の実現 意見は、簡素にして効率 行政改革推進委員会の

見交換会を重ねる。 の理解を得るため、 ケート調査や説明会、 担当課を中心に、 住民 意

済」と表現している。 の整理合理化状況などは ている。公共施設のあり ては、実施年度を明記し 万一覧や補助金・委託料 た集中改革プランにおい 検討中・調整中・実施 平成19年2月に策定し

# **配改正後の健康対策を伺う**

# A全町民を対象に

# 充実内容で実施



康対策を伺う。 なされている。本町の健 早期発見・手遅れ防止が

て、追及は徹底して行い

## 答弁(町長)

ている。 報告を求め、再発防止に を見て判断したいと考え 向けた取り組み状況など 保健事業団から一定の

の保持・増進を図ること い各種健診などは「健康 と位置づけており、幅広 は、町の重要施策である 町民全ての方々の健康

> き続いて実施していく。 健康教室や運動事業は 健康保険以外の方でも引

及・分析し、対策していく。 であり、健診結果を追 こそが「特定保健指導」 健診終了後の結果説明

全町民を対象に充実した 増進法」のもとに、国民 内容で実施する。



健康診断での結果につい

民間の健康保険組合は

善指導は国民健康保険加

診や健康教室、

食生活改

入者のみが対象になりは

しないか。

ック症候群についての検 く改正になる。メタボリ 取り組みや考え方が大き 現在の健診・保健事業の 実施されることに伴い、 健診・特定保健指導」が

-番! 健康が-検診車による住民健診の実施

## A情報の共有化を進める とれているのか

**配災害時に現場との連携は** 

ているのか。 や関係機関と連携はとれ 災害時に、各集落現場

るか。 なっているが、関係機関 部を設立し対応する事と れば、災害時には災害本 との連携は確立されてい ①防災マニュアルによ

減災を考えねばならない 事が必要である。また、 ュアルを作成、周知する を想定し、自主防災マニ と思うが。 ②各集落は最悪の事態

共有化を進めていく。

会の活用を通じ、情報の

町はどのように対応する

平成20年度から「特定

を出したことに対し、本 せずに異常なしとの通知 状腺がん検診で、診察を

鳥取県保健事業団の甲

とすべきことがあるので 中豪雨の実態から、教訓 町太一垣、中村地区の集 ③先に発生した、琴浦

### 答弁(町長)

町内3つの日赤ボランテ 市町 研修会やまちづくり懇談 ながら、自主防災組織の 機関と連携を図っている。 ィアグループ等、多くの 議会、町社会福祉協議会 住民の皆さん、町建設協 県中部総合事務所、 ①町消防団はもとより ②定期的な訓練を行い 羽合消防署、

との指摘があった。 れる体制の構築が必要\_ などに被害情報が提供さ 対応の検討結果の中で 自治会住民から市町村 ③集中豪雨災害に係る

### 報」が10月1日から始ま ったが、速報体制が整備 気象庁の「緊急地震速

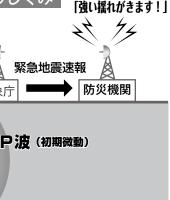


吉田礼治議員 震が発生するという想定 想定した訓練のみだった は南部町だけである。 災訓練は、地震発生後を されているのは、県内で についての対応を伺う。 これまでの対地震の防 今後の本町の速報体制 予告から数秒後に地

### 急地震速報のしくみ

気象庁

### 「強い揺れがきます!」



告から発生までの対応マ の訓練も課題である。予

**配本町農業に将来展望はあるか** 

**△積極的に支援していく** 

緊急地震速報のイメージ図

### 答弁(町長)

を伺う。

務であるが、町長の所見 初期動作の防災訓練が急 ニュアルの作成と周知

や国・県への要望等をす がある等の課題があるの ていく。③誤報のおそれ ジオ、携帯電話に拡大し る必要がある。 で、もうしばらくの研究 費用が1千万円以上かか 報」整備については、 る。②今後、テレビやラ 気象庁の「緊急地震速

S波 (強い揺れ)

X 地震発生

A課題が多く

今後の研究が必要

たい。 利用しての訓練は、各家 周知を図りたい。これを アルを作成し、ケーブル を出向かせることも考え 組みを助長したい。職員 庭・地区・職場での取り テレビや町報等で町民に にして本町の対応マニュ 気象庁提案のものを参考 マニュアルについては

寺地章行議員

取り巻く環境は大変厳し 担い手不足の深刻化、農 いものがある。 自由化が進む等、農業を 業構造の脆弱化、農産物 農業従事者の高齢化

耕作放棄地の解消などの 言を農業委員会長に伺う。 問題点解決に向けての提 実的にどのように取り組 識、農業振興に向け、現 れらの諸課題への現状認 んでいくのか町長に伺う。 本町農業の振興への想 本町農業も共有するこ 農地の確保、担い手

### 答弁(町長)

業を積極的に支援してい 水.環境保全向上対策事 直接支払事業や農地 充や県のチャレンジプラ 業集落に対する支援の拡 ンの活用、中山間地域等 認定農業者の確保、 農

> 改良、 取り組み、小規模な土地 なども支援する。 地産地消の取り組み 町特産加工品の開

## 答弁(農業委員会長)

役立つ意見をあらゆる機 て、農業・農村の発展に としての活動を中心とし としては、農地の専門家 重要である。農業委員会 に、農業後継者の育成が 会に申し上げたい。 果樹と施設園芸を中心



特産梨栽培の造成団地(東郷地域 山田谷)

観光とタイアップした

## **配同和関連予算の見直しを** A慎重に検討をしていく

# 増井久美議員

う指摘をした。 算があまりにも多いとい 質疑の中で、同和関連予 平成18年度決算認定の

考える。 思う。現時点で、本町は 役立っているのか疑問に である。このような補助 泊費・日当・参加費など するものが一番多く、宿 差別解消が進んでいると 金の出し方が差別解消に われ方は、大会参加に関 たが、多くの補助金の使 今回決算書提出を受け

すべきではないか。

### 答弁(町長)

進していかなければと考 の各種事業を積極的に推 民の責務として、部落解 放運動への各地区への支 といった現実もある。 方で差別落書きや投書、 を中心に定着しつつ、一 の意識は、学校教育現場 ネット上での書き込み等 このため、町並びに町 部落差別に対する町民 同和教育、人権教育

## 答弁(教育長)

討をしていく。 後、公金補助は慎重に検 でないものもあった。今 ど誤解を招いたり、適切 教育推進協議会報奨金な 調査をしたが、地区同和 同和関連予算について

# **配小学校への移設は必要か**

# **A将来的には移設したい**

学童保育は、

か聞きたい。 に移設する必要があるの

ている。なぜ羽合小学校 色ある学童保育が行われ つや草花の手入れ等、特 ティーでは、手作りおや を考えれば、単純に移設 ているが、学校の状況等 小学校へ移設しようとし 取って代われない。 い子どもだけが足を運ぶ 活の場」である。行きた 「遊びの場」ではなく「生 していいものではない。 ートを取り、学童保育を 「全児童対象事業」では 「放課後子ども教室」 や 特に、羽合西コミュニ 教育委員会ではアンケ

### 単なる 答弁(町長)

とが好ましいと考えてい 校に活動拠点を設けるこ の連携を考えると、小学 面や放課後子ども教室と で学童保育を行っている。 花見放課後児童クラブ室 東郷地域は東郷小学校と 保健福祉センター内で、 ユニティーで、泊地域は 児童の移動に伴う安全 羽合地域は羽合西コミ

と判断している。将来的 校の状況から移設は困難 移設を検討したが、現時 移設を希望されている。 2の方が羽合小学校への 点では児童数の推移や学 羽合地域では、3分の



状況から見ても、このよ うな予算の使い方は見直

金カットなど厳しい財政

行政改革等、各種補助

には移設をしたい。

# **©後期高齢者**

図りたい。

行できるよう周知啓発を

# A条例にそって実施



竹中壽健議員

されるのか。

### 答弁(町長)

後期高齢者医療広域連

も決定された。現行の老 条例が定められ、 合議会において、 人医療からスムーズに移 保険料 制度の

や健保から切り離し、

医

75歳以上の高齢者を国保

後期高齢者医療制度は

され、お年寄りにとって

保険料も年金から天引き 者にかかりにくくする。

厳しい医療制度ではない

罰則は過酷すぎないか。 の徴収努力をする。 平性の観点から、きちん どおり町が行う。 と納付していただくため 75歳以上の検診は従前 保険料滞納者へは、 罰則規定は、条例では 公

く。 り、制度の理解を求めて の方への周知を十分に図 町としては適用しなくて 細かく定められているが も良いように、被保険者

るのか。町長は生命財産

切にする内容になってい

この条例は高齢者を大

条例に従って制裁措置を

保険料を滞納した場合

方の検診はどうなるのか

また、今後75歳以上の

が、どうか。

は見直しをすべきと思う 条例を全面的に中止また を守る立場に立ち、この

4月スタート!後期高齢者医療制度説明会風景

### 第9回 (12月)定例会







予算総額を8億9075

62万1千円を減額し、

歳入歳出それぞれ16

☆一般会計補正予算

補正予算

万4千円とするもの。

主な内容は、人事院勧



第9回定例会が、平成19年12月14日から12月20日までの7日間の会期で開催された。 平成19年度各会計補正予算、条例の一部改正、教育委員会委員の任命など提出された22 議案は全て原案どおり可決(同意)された。

> 備事業の国庫返納金、 地域イントラ基盤施設整

耐

ル設備導入事業負担金 ケーブルテレビのデジタ 告による人件費の補正

また、政府に対する意見書など議員提出議案6議案も全て原案どおり可決された。

### まちづくり支援 自動販売機

のまちづくり支援自動販 売機販売手数料及び積立

促進計画作成業務、協働 震事業実施のための改修

金など。

### 正予算 ☆介護保険特別会計補

金の減額、 負担金介護認定審査負扣 万4千円とするもの。 予算総額を13億8736 71万2千円を追加し、 歳入歳出それぞれ13 主な内容は、 介護予防サー 広域連合

# えた分を支給するもの。

7千円を追加し、予算総 る維持管理修繕料の増額 うマンホール嵩上げによ 円とするもの。 額を13億4049万1千 育谷線道路改良工事に伴 主な内容は、県道倉吉

業特別会計補正予算 ☆農業集落排水処理事 歳入歳出それぞれ25万

7千円を追加し、予算総

### 別会計補正予算 ☆国民健康保険事業特

ビス給付費の増額見込み

による増額など。

提出された議案

7千円とするもの。 による療養給付費と療養 険者に係る医療費の伸び 予算総額を19億351万 70万7千円を追加し、 歳入歳出それぞれ26 主な内容は、退職被保 高額療養費を増額

### 正予算 ☆老人保健特別会計補

5千円とするもの。 算総額を2億6299万 1万1千円を追加し、 歳入歳出それぞれ1○ 予

療費のうち、限度額を超 で受診時に負担された医 主な内容は、医療機関

# ☆下水道事業特別会計

補正予算 歳入歳出それぞれ8万

計補正予算 ☆国民宿舎事業特別会

員の異動並びに給与改定 万4千円とするもの。 円減額し、3億9829 事業費用を349万2千 今回の補正は、主に職 収益的収入及び支出の 額など。 額を1億5490万9千 円とするもの。 新設汚水桝設置工事の増 水道処理場機器の修繕、 による人件費の減額、 主な内容は、職員異動



下水道マンホール

### 計補正予算 ☆簡易水道事業特別会

繕料の増額。 円とするもの。 4万3千円を追加し、 算総額を4723万8千 **語及び漏水修理による修** 主な内容は、機器の修 歳入歳出それぞれ10 予

減額によるもの。

によるものと、賃金等の

### **大**例関係

### 改 正 ☆情報公開条例の一部

もの。 該当しなくなったことに 本郵政公社が公務員等に 化されたことに伴い、日 って日本郵政公社が民営 より関係部分を削除する 平成19年10月1日をも

### ☆個人情報保護条例の 部改正

備をするもの。 れたことによる条文の整 統計報告調整法が廃止さ 統計法の全部改正に伴い 昭和22年に公布された

# ☆税条例の一部改正

納報奨金制度を廃止する 分と固定資産税に係る前 個人町民税の普通徴収

### の一部改正 ☆国民健康保険税条例

ている年齢65歳以上の国 老齢等年金給付を受け

> するもの。 金給付から徴収する「特 する国民健康保険税を年 る世帯主に対して、課税 民健康保険被保険者であ 別徴収規定」を創設整備

### の一部改正 正処理等に関する条例 ☆廃棄物の減量及び適

り、汲み取り手数料を改 収集運搬経費の増高によ 正するもの。 し尿汲み取り世帯の減 燃料価格高騰による



し尿汲み取りの様子

### の一部改正 ☆特別医療費助成条例

本町条例も併せて改正す 県の制度改正に伴い、

> に所得要件を設けるもの。 ☆心身障害者医療費助

るもので、制度の対象者

# 成条例の一部改正

要件を設けるもの。 図るもので、新たに所得 の一部改正」を受け、 方の医療費助成の均衡を 「特別医療費助成条例 双

### ☆国民健康保険条例の 部改正

るもの。 るため2万円に引き上げ 医療制度との整合性を図 額1万円を、後期高齢者 現行国保の葬祭費支給

の一部改正 等の公開に関する条例 めの湯梨浜町長の資産 ☆政治倫理の確立のた

証券取引法等の一部を改 伴う関係法律の整備及び 法令名の改正をするもの。 正する法律の制定に伴う 郵政民営化法の施行に

### 条例の一部改正 ☆職員の給与に関する

等の扶養手当の支給月額 若年層に限定した給料表 の一部を変更するもの。 の改正、初任給を中心に 人事院勧告により、そ 期)工事につき、第二期 整備事業伝送路(第一 期工事に追加し発注する 伝送路工事の一部を第 分に予定していた地区内

命同意

☆教育委員会委員の任

### する条例の制定 ☆後期高齢者医療に関

変更契約について可決。

定などを定めるもの。 制定し、町が行う事務や を受け、新しく町条例を 保険料の取扱い、罰則規 ·後期高齢者医療制度\_ 4月からスタートする

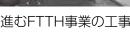
### その他

### 決定 解及び損害賠償の額の ☆温泉管破損に係る和

の額の決定について可決 管を2箇所破損したもの ち)において、東郷温泉 祭」の準備作業中(杭打 管理協同組合所有の温泉 に対する和解と損害賠償 ゆりはま夏祭り「水郷

### ☆工事請負契約の変更 湯梨浜町情報環境基盤

意。 つき、次の者の任命に同 教育委員会委員の任命に 熊坂かつ枝(上浅津) 任期満了に伴う新し



## 総務常任委員会

### ☆11月29日

防災訓練について

工事請負契約の変更に

東郷池の呼称について

### ☆12月17日

第9回定例会提出議題 について

陳情審査について

所管事務調査報告書に

委員会の審議内容を参 質疑については、常任 ついて

# 民生常任委員会

### ☆11 月 28 日 後期高齢者医療に関す

・ゴミ袋の無料配布の廃 止について る条例の制定について

### ☆12 月 17 日

所管事務調査報告書に 陳情審査について 第9回定例会提出議題 について

、質疑については、 常任 ついて

委員会の審議内容を参

委員会風景 (民生常任委員会)

### 教育産業 常任委員会

☆11月29日

議会運営、

先例集につ

常任委員会 審議内容

Q

災害時に町の防災無

線が使えなくなった場

合はどうなるのか。

アロハホールにも同

いて

### ☆12月18日

第9回定例会提出議題 について

☆12 月 18 日

議会基本条例について

議員報酬について 議員定数について

下水道使用料統一化に 伴う現状報告について

陳情審査について

議会広報調査

特別委員会

(質疑については、常任委 所管事務調査報告書に

員会の審議内容を参照)

### ☆11月26日 今後の議会だよりの発 所管事務調査のまとめ 行について

## 議会運営委員会

☆12月14日

第16号の編集割当て

所管事務調査報告書に

・第9回定例会日程につ いて

☆11月15日

☆12月3日

第9回定例会について

☆1月15日

第16号の編集

第16号の校正

☆1月9日

ついて

☆1月21日

第16号の最終校正

### 議会基本問題 調査特別委員会

### ☆11月6日

委員会としての調査項 目について

## 総務常任委員会

これはどういうものか。 の町内火災のみの対応 班は、あくまでも昼間 訓練を実施。役場消防 災に対応すべく設置す 限りがある。昼間の火 町消防団員の出動には が結成されるとのこと るもの。月2回程度の このたび役場消防班 昼間の災害に対して

Q 見もいただいていない。 あるが、住民からいま とりあげられた問題で 地元の総意が軸となる いまどうこうという意 東郷湖がいいのか、統 て、東郷池がいいのか、 ことであり、継続して 県議会の一般質問で してはどうか。 東郷池の呼称につい





東郷池」 はてさて? 「東郷湖\_

協議を進めていきたい 意見等を集約しながら

今後情報連絡網の再検

討が課題であると痛感

している。

場合、防災無線での連

絡網は途絶えてしまう。

あるが、これもだめな じ機能をもった設備は

1211 月月 1729 日日

Q としている。

Q

ケーブルテレビのデ

ジタル化事業は、本来

TCC(鳥取中央有線

放送株式会社)が行う

をカバーしたデジタル 格差是正と3町の全域 栄町・湯梨浜町のケー 事業だが、琴浦町・北 ブルテレビサービスの 交付金事業として取組 化の実現を図る目的で 本来はTCCが行う

Cが合意の上で取組む は後ほど返してもらう ことを約束、町負担金 んでいく。3町とTC 事業ではないか。 こととなっている。

### 民生常任委員会 1211 月月 1728 日日

Q 置補助金要綱の一部改 正の中味は。 ゴミステーション設

5万円を限度とする。 平等であり是正するも 助は補助率二分の一、 度。既存施設の修繕補 の。新設補助は補助率 わらず一律の交付は不 たが、規模の大小に関 ョンの設置については 二分の一、30万円を限 一律45万円の補助を行 各区のゴミステーシ 設置を奨励してき



立派なゴミステーション の完成

Q 廃止(有料化)がゴミ の減量化につながるの ゴミ袋の無料配布の

料支給対象者の枠につ とはどうかと思う。無 配布で年間800万円 度はおかしいのではな もゴミ袋の無料配布制 いては、検討していき の支出を続けていくこ くようになった。無料 べきとの意見をよく聞 ミの問題を考えていく いか、もっと地域でゴ しているが、住民から ゴミの回収問題をセッ トに出前講座等を実施 ゴミの減量化と資源

Q いのでは。 くなるという風評が怖 かとはいえ、制度がな 止について、たとえ僅 前納報奨金制度の廃

A 町県民税と固定資産 不均衡感、格差の解消 税の普通徴収のみが前 と町の財政状況を考慮 ている。特別徴収との 納報奨金の対象となっ 廃止したい。近隣で

この制度を施行してい るのは本町と琴浦町の み。町報等を通して町 民にきちんと説明をし

Q がスタートする、住民 に理解を得るための説 明会の開催状況は。 の他、町報等の広報媒 催申込がきている。そ 5地区から説明会の開 開催済み。さらに現在 現在26地区で説明会を 町内74地区のうち、 後期高齢者医療制度

動に努めていく。 るよう引き続き広報活 行を間近に控え、スム ーズな制度移行が図れ なお、この制度の施 めている。

体を利用して広報に努

### 教育産業常任委員会 12月18日

Q る中、購入方法はどう るが、ガソリン、灯油 公共施設をかかえてい なっているのか。 等燃料費が高騰してい 庁舎をはじめ多くの

Α 半年ごとに入札をして きる限り安価な単価で 執行している。当初は 節減に努めている。 購入することで経費の いたが、今回のように 位で入札を執行し、で 高騰が続いている中、 一ヵ月あるいは半月単 総務課が入札により

Q 500万円の変更増工 メインであり、外から とある、当初見積もり 算していた。 の目視による見積で積 が甘かったのでは。 当初は屋根の修繕が 泊体育館改修工事で

て極めて危険な状況が 柱が著しく腐食してい ルで包み込んだH鍋の エしたところ、モルタ 実際足場を組んで着

判明。これを今回併せ



安全な施設へ (泊体育館改修工事)

Q 況はどうか。 数の推移と、平成20年 度の各幼稚園の募集状 町全体としての園児

所を増やすべく、ホー 外への入所が100人 傾向にある。また、 羽合幼稚園6人ほどで ムページ等を活用し情 程度あるのが現状。 あり、町全体では減少 況は、松崎幼稚園40人 保育所、幼稚園への入 来年度の入園申込状 保育所も含め、町内 Ш

て修繕することとした。

報提供とPRに努めて

Q ではないか。 について、本当に大す る情報センター、保健 事業団の度重なるミス 夫なのか再検証が必要 町が業務委託してい

Α 今回のミスは、他町で 全体業務について再検 町と協力して対応すべ のみのものとある。他 も発生したもの、本町 防止チェック体制をと 議をして、お互い再発 調査をし、ミスの発生 っているところである。 討を十分していきたい。 きものも含め、詳しく した業務のみならず、 現在、関係機関と協

# $\oplus$ 各常任委員会所管事務調査報告

 $\oplus$ 

の交流を図り、 て取り組み、

 $\oplus$ 

アーを旅行業者と連携し

都市住民と 定住希望

 $\oplus$ 

## ★総務常任委員会

調査地

調査期間 ①滋賀県長浜市 ②京都府綾部市

月9日 平成19年11月7日~11

調査事項

や特産品であるフキノト 里山ネット農林体験事業 ウを活用した収穫体験ツ みとして、ほたるまつり 制定と集落再生の取り組

の取り組みについて

①黒壁スクエア町づく

り(長浜市)

②「水源の里条例」

制

定、集落再生(綾部市)

と住民による集落の再生

官民による町の活性化

歴史と文化を重んじ、町 を吹き込んだ取り組みは 在が不可欠なことを物語 力と強力なリーダーの存 づくりに意欲のある若い ②「水源の里条例」の

っていた。

要とのことであった。 間の1ヵ月前には「全国 ているとのこと。 地域住民の意識改革が重 ないが、なんといっても て取り組まなければなら 担を明確にして一体とし は、住民と行政の役割分 と活性化を図る取り組み 止めをかけ、地域の振興 の相談も数多く寄せられ を開催。この過疎化に歯 水源の里シンポジウム」 調査期

を突き合わせて議論。平

人を呼ぶ方法を官民が膝

エアの核となる「黒壁ガ 成元年7月に、黒壁スク てさびれた中心市街地に 壁を設立。1年近くかけ

に第三セクター(株)黒

①民間主導で昭和63年

調査所見

「水源の里」 での現地研修 (総務常任委員会)

# ★民生常任委員会

### 調査地

①徳島県美馬市 ②愛媛県砥部町

### 調査期間

月 22 日 平成19年11月2日~11

### 調査事項

り組み ①医療費の削減への 取

り組み ②子育て支援事業の取

### 調査所見

も作成した。 美馬市の健康状態」資料 による「データーで見る 策定。徹底した現状分析 進計画「健康みま2」を 市挙げて取り組む健康増 惑していた。そこで、 え続ける国保医療費に困 尿病の死亡率が高く、増 死亡率が13年間連続全国 1位。中でも美馬市は糖 ①徳島県は、 糖尿病の 全

態」についての学習会や 員対象に「市の健康状 プへの参加要請。 健康づくりワークショッ 学習会を開催。 事業所、保護者会等での この資料を使い、地域 年代別の 全市職

殻状態の商店街に再び命 光地を創りあげた。抜け 間200万人が訪れる観 ラス館」をオープン。年

> を見張るものがあった。 りの取り組み姿勢は、 と一体となった健康づく 案制度の導入など、 各課による作業部会、 ②砥部町においても、 市民 提

いる状況。 は定員数をオーバーして 設置されており、 課後児童クラブは3箇所 ついては、模索状態。放 保育所の今後のあり方に 保育所が老朽化しており 1 箇 所

子育て支援として特徴

ている点は大いに評価で を行政がバックアップし 存在。行政が委託費を出 支援団体ぽっかぽか」の 主的に生まれた「子育て の保護者たちの中から自 的だったのは、子育て中 ィアで運営。子育て中の し、常勤2人とボランテ 人たちから生まれた組織



活発な意見交換で盛り上がる (民生常任委員会)

全国35箇所の総合施設モ

めてこの園以外の保育施

## 調査地

調査期間 月 14 日 平成19年11月12日~11

②群馬県吉井町 ①群馬県明和町

調査事項 について ①幼保連携型こども園

①平成18年4月より 認定を受けられた。 明和町には、民間も含

調査所見

の里について

物産センターふれあい ②団塊世代対策=吉井

認定申請をされ、平成19 型の「認定こども園」の の施行により、幼保連携 が運営開始された。 年4月、群馬県第1号の 合施設「明和こども園」 国の認定こども園制度

園と保育所を包括した総 全国でもめずらしい幼稚 育・保育の提供できる、 分けされない一貫した教

デル事業の指定を受け、 保護者の就労の有無に区 設はない。少子化と併せ めて、保育所、幼稚園の て施設の老朽化問題等含

18年度は6億1千万円の 織する「朝市会」がスタ もと35人のメンバーで組 オープン。ピーク時には ふれあいの里」は、もと について早急に取り組む り良い育成環境のあり方 れる予定。 実績。 平成2年6月には 約9億円の売上げ、平成 必要性を痛感させられた。 あり方、子どもたちのよ 道の駅」として認定さ ②「吉井物産センター ト。平成8年11月16日

「明和こども園」 百聞は一見にしかず

(教育産業常任委員会)

に向けて、 て、生産者が喜びを持っ ている実態あり。生産者 代と呼ばれる人達が徐々 務である。 て取り組める店舗づくり と消費者の交流の場とし 里を通して食材を納品し ターには全てふれあいの 象的であった。給食セン に仲間入りし、生き生き と働いておられた姿が印 調査研究が急

### 1 2 2

12月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定した。

女性を中心に団塊の世

件名	陳情者	審査結果
島根原子力発電所周辺の断層調査と耐震基準の見直し、 及び原子力に依存しないエネルギー政策の転換を求め る陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 岩井 良	不 採 択
集団的自衛権」の行使についての政府解釈の変更並びにミサイル防衛システム導入に反対し、軍事費・在日米軍への財政支出を大幅に削減し、地方自治体財源の充実を要求する意見書提出についての陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 岩井 良	不 採 択
沖縄戦における日本軍の命令・強制・誘導による「集団自決」の記述を削除、修正させた教科書検定の結果を撤回し、同記述の速やかな回復を要求する意見書提出についての陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 岩井 良	趣旨採択
県立美術館誘致に関する陳情	県立美術館誘致活動実行委員会 委員長 中石 唯雄	採択

件名	陳情者	審査結果
日豪をはじめとするEPA路線を転換し自給率の向上 と食糧主権にもとづく農政を求める陳情	鳥取県農民運動連合会 代表 東田 久	趣旨採択
品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の 育成を求める陳情	鳥取県農民運動連合会 代表 東田 久	趣旨採択
「県営基幹水利施設ストックマネジメント事業」施行に 係る市町村負担分の助成方についての陳情書	羽合土地改良区 理事長 山田 博	採択
「JR不採用問題の解決に向けた協議の開始を求める意見書」の提出を求める陳情書	国鉄労働組合米子地方本部 執行委員長 小村 宗一	趣旨採択
地方財政の強化・拡充、及び財政健全化法の施行にあ たっては地方自治原則の堅持の意見書採択を求める陳 情書	日本自治体労働組合総連合鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	趣旨採択
後期高齢者医療制度をはじめ、高齢者医療制度改悪の 中止・撤回を求める意見書採択を求める陳情書	日本自治体労働組合総連合鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	採択
地域医療と国立病院の充実に関する要請	全日本国立医療労働組合鳥取地区協議会 議長 渡辺 和志	採択
「現行保育制度の堅持・拡充、保育・学童保育・子育て 支援予算の大幅増額」を求める意見書提出の陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	継続審査
「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」採択 を求める陳情書	鳥取県保険医協会 理事長 松本 拾	採択
介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止の意見 書採択等を求める陳情書	鳥取県保険医協会 理事長 松本 拾	継続審査
山田谷地区農地開発事業による事業費の助成について の陳情書	仙津土地改良区 理事長 中山 一男 他6名	採択
後期高齢者医療制度の中止・撤回に関する陳情	全日本年金者組合鳥取県中部支部 支部長 植田 勉	採択
障がい者の生活と社会参加、福祉の危機打開を求める 陳情書	障害者自立支援法の抜本改善を求める鳥取県実行委員会 湯梨浜町世話人代表 本田 孝	採択

### ◎議員発議で政府に意見書を提出



人と人とのふれあいを求めて (社会福祉大会にて)

- ☆道路特定財源の確保に関する意見書
- ☆障がい者の生活と社会参加、福祉の危機打開を求 める意見書
- ☆保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
- ☆国立病院の廃止・縮小・民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求める意見書
- ☆後期高齢者医療制度をはじめ、高齢者医療制度改 悪の中止・撤回を求める意見書

### 湯梨浜の誇り100選より紹介



年に 無病息災のご利益があると言われ 〇〇年余りにわたって継承されて 来る年の豊作を祈願する神事で5 当渡し行事は旧暦の11月1日に行 当日は多くの参拝者でにぎわいま きす。 n 請 田 出雲の八重垣神社の御分霊を 後神社は、1450 (かんじょう) したものです。 そ 「宮の飯」をいただくと の年の新穀を神に献上し、 (宝徳2)

勧

が

藩

ごとにこのような藩倉が多数存在 います。 もごくわずかで、 流通経済の拠点となっていました。 港としてにぎわ っており、 片山蔵」、 10数棟あり、 現在残っている藩倉遺構は全国 江 戸 時代、 県の文化財に指定され 「三拾間北蔵」の3棟が残 橋津には鳥取 いました。 米や物資の積み出 橋津には 当時は 古御蔵 藩 の藩



議会広報調査特別委員会

委員長 副委員長

増井久美

会見祐子 村中隆芳

員

入江 誠

### 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理 されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。 議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

> **☎**35-5341 メール ygikai@yurihama.jp

がらないことを祈っています。れてしまいました。今は反省し、 便乗値上げを交渉しましたが一 議会だよりづくりに一層努力してま り組んできました。新たなる年を迎 とりが考え、責任をもって編集に取 写真を大きくしています。これまで が、私、これを良いことに小遣い 仕方がないのかと諦めてしまいます が相次いでいます。相次ぐ値上げも いりますので、 よう、わかりやすく、 え、意を新たにし、一人でも多くの 読んでいただけるのかを委員一人ひ も、どうすればより多くの皆さんに し変わりました。文字数を少なくし 人が議会に関心を持っていただける 今回号より一般質問のページが少 昨年から色々な商品 ご愛読をよろしくお 親しみやすい 値上げる勝を理

编 徳 記

議会だより 第16号〔16

れ、心も新たにスタートを切られた皆様方には輝かしい新年を迎えら

ことと思います。

原油や原材料費の高

蹴 ž 0)